

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-2-2	事務事業名 総合型地域スポーツクラブの設立	所管部課 生涯学習部 スポーツ振興課					
事務事業の概要	事務事業の目的 誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備・充実を図るため総合型地域スポーツクラブを設立するための準備委員会の開催	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)スポーツレクリエーション活動の振興(創3-3) (主要施策)総合型地域スポーツクラブの設立					
	実施内容、実施方法 新しいクラブの運営形態による地域のスポーツ振興を図る。幅広いクラブ会員のスポーツニーズに応えられるような事業プログラムの企画立案を行う。地域のより多くの人達がスポーツクラブに加入できるよう会員の募集を行う。スポーツ指導者のみならず、学校関係者や地域の指導者等、地域のスポーツ振興や子ども達の教育活動に貢献してくれるような指導者を募集する。	根拠法令等 スポーツ振興法					
	事業開始時期	平成 14 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()			
評価指標の設定	活動指標名 設立準備検討委員会の開催回数	活動指標の考え方(定義) 設立準備検討委員会を開催した回数					
	成果指標名 クラブのあり方の提言作成数	成果指標の考え方(定義) 西原総合教育施設内スポーツ振興施設を拠点としたスポーツクラブのあり方の提言を作成した数					
	スポーツクラブ会員数	西東京市に4つのクラブ設立を予定している中での会員数					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)		千円	0	152	22,127	16,389
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他					320	320
	一般財源			0	152	21,807	16,069
	所要人員(B)		人	0	0.01	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	0	83	1,666	1,666
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	0	235	23,793	18,055
	単位当たりコスト (E)=(D)/(スポーツクラブ会員数)		千円	0			
	歳入		千円				
	活動指標	目標値	回	/			12
		実績値	回			0	0
活動指標	目標値		/				
	実績値						
成果指標	目標値	冊	/			1	
	実績値	冊			0	0	1
成果指標	目標値	人	/				
	実績値	人					
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	地域のひと達、地域コミュニティ団体や体育指導委員、育成会等がスポーツ・文化の活動を通じて児童・生徒の健全育成や豊かな地域社会づくりを目指す。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	民間経営によるスポーツクラブ					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	行政が旧西原2小の廃校舎については、総合型地域スポーツクラブを設立する政策決定し、行政が主体的に取り組む体制を確立。その後地域・スポーツ関係団体へ説明し理解を得て有志を募り組織編成をする。					

コード 13-2-2	事務事業名 総合型地域スポーツクラブの設立	所管部課 生涯学習部 スポーツ振興課
---------------	--------------------------	-----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	平成17年3月に総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を設立し、設立趣意書・規約・諸様式等を検討し設立に向けて準備を進めている。現在、秋ごろを目途に運営委員会を組織してスポーツクラブ設立を検討している。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	施設整備については、市民ニーズの高いテニスコートの整備が望まれている。現行での利用は、土曜日・日曜日を除き平日のグラウンドの利用者は、学生・勤労者を除く主婦層のためテニス愛好者が多く、施設が不足している状態である。今後、スポーツクラブの安定経営を図る上からも環境整備して市民ニーズの高いテニスコートの新設を行い、魅力あるクラブ経営を図るため行政支援が必要である。補助財源も合わせて検討する必要がある。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	当初は、16年度・17年度は、創設支援として地域・スポーツ団体への学習会・講演会をはじめ準備会を立上げ、18年度にスポーツクラブを設立し育成支援を計画しているが、準備委員の熱意と努力により17年度中に計画を早めスポーツクラブ設立まで進行しつつあります。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	総合型スポーツクラブは、自らの会費収入等に裏打ちされた自主財源等をもとに、自主・自立的な運営を行なう非営利組織であることが特徴である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	早期にスポーツクラブ設立に向けて支援する必要がある。

17年度における改善点	自主運営に対する課題及び会員募集について募集人員の確保の課題がある。
-------------	------------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。